

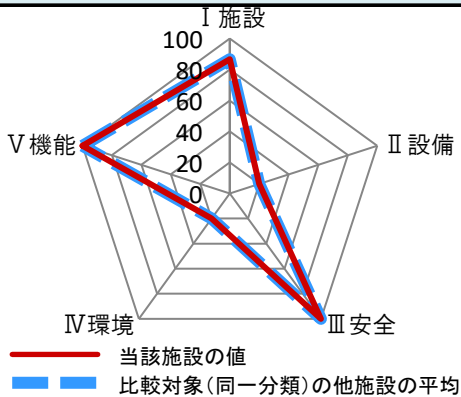
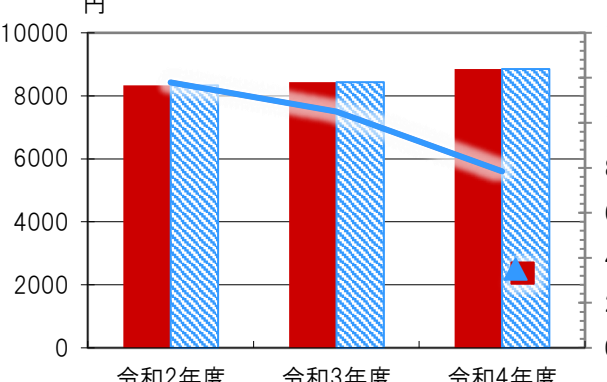
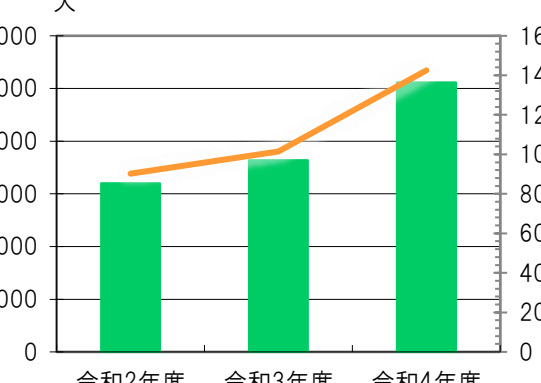
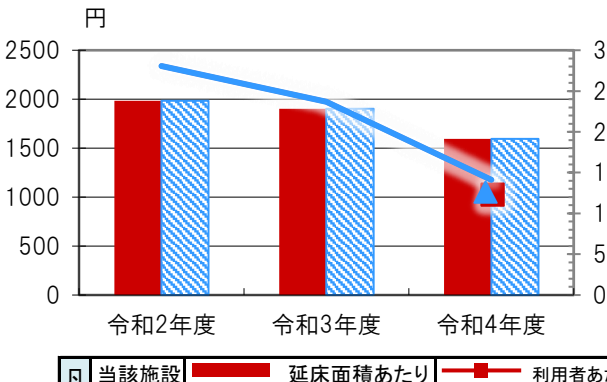
施設カルテ（評価シート）

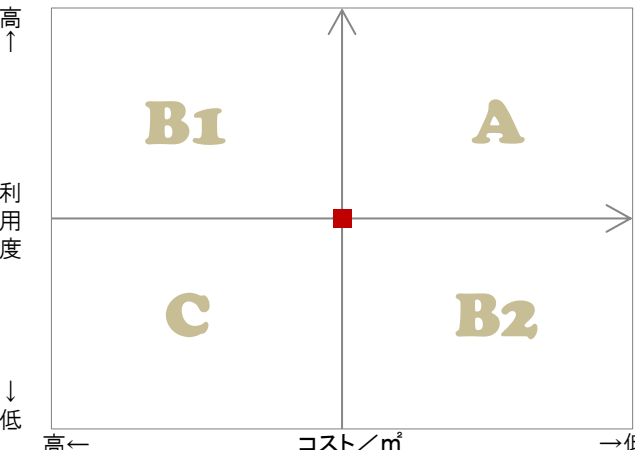
商工センター

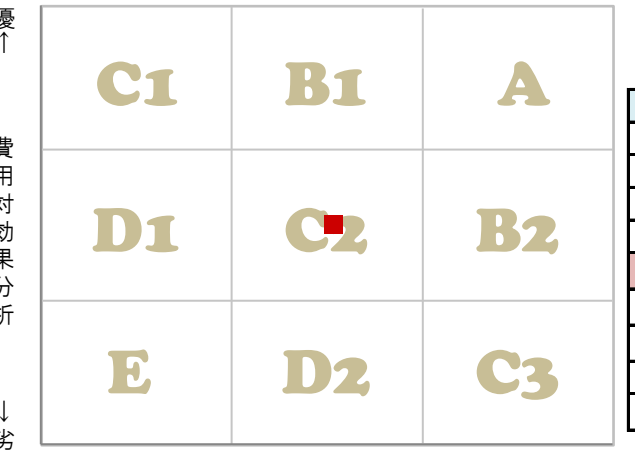
施設番号 043

令和 5 .3.31時点

Ⅰ. 施設情報・代表建物の情報					
施設基本情報	施設名称	商工センター			
	代表所在地(地番又は住所)	忍2-194-1	代表建築年度	S57	(1982) 年度
	所管課	商工観光課	構造・階層	SRC ・ 4階建	
	大分類(類型)	産業系施設	経過年数	40 年	
	中分類(機能)	産業系施設	敷地面積	2,429.71 m ²	
	配置形態・管理形態	単独	指定管理(利用料金制)	延床面積	4,533.35 m ²
	建物所有状況	市所有	土地所有状況	市所有	
	借受面積(賃借の場合)	-	m ²	借地面積(借地の場合)	- m ²
	避難所指定の有無	あり	駐車可能台数	50 台	

Ⅱ. 施設性能、財務情報、供給情報分析						※端数処理の関係で合計と内訳、単位あたりの数値が一致しない箇所がある			
■ 施設性能分析(評価大分類)						■ 財務情報(過去3年間平均)			
 <p>— 当該施設の値 — 比較対象(同一分類)の他施設の平均値</p>						歳出		当該施設	同一中分類平均
						歳出合計		38,707 千円	38,707 千円
						内訳	人件費	321 千円	321 千円
							需用費	419 千円	419 千円
							委託料	0 千円	0 千円
							土地・建物賃借料	0 千円	0 千円
							工事請負費	0 千円	0 千円
							その他維持管理費	0 千円	0 千円
						指定管理料等		37,967 千円	37,967 千円
						延床面積あたり(縦棒)		8,538 円	8,538 円
利用者あたり(折線)		971 円	971 円						
						歳入		当該施設	同一中分類平均
歳入合計		8,277 千円	8,277 千円						
内訳	施設利用	4,082 千円	4,082 千円						
	その他	4,195 千円	4,195 千円						
	補助金等	0 千円	0 千円						
延床面積あたり(縦棒)		1,826 円	1,826 円						
利用者あたり(折線)		208 円	208 円						
評価大分類項目	I 施設	II 設備	III 安全	IV 環境	V 機能				
当該施設の値	87	20	100	20	100				
同一中分類の平均値	87	20	100	20	100				
■ 供給状況(過去3年間の平均)						【歳出の推移】			
利用実績		当該施設		同一中分類平均					
児童・生徒・園児数		- 人		- 人					
学級数		- 組		- 組					
開館・提供日数		358 日		358 日					
年間延利用者数		39,861 人		39,861 人					
年間利用・給食件数		- 件		- 件					
資料数		- 点		- 点					
入居戸数		- 戸		- 戸					
利用者数(縦棒)		39,861 人		39,861 人					
1日あたり利用者数(折線)		111 人		111 人					
【利用状況の推移】						【歳入の推移】			
									
凡例		利用者数(縦棒)人		1日あたり利用者数(折線)人		凡例			
						当該施設		延床面積あたり	利用者あたり(折線)
						分類平均		延床面積あたり	利用者あたり(折線)

Ⅲ. 施設評価結果によるポートフォリオ(機能別評価)		
■ 費用対効果分析【供給グラフ折線×㎡あたり収支(工事請負費除く)による比較】		
	【当該施設の評価】比較対象なし	
	区分	対応
	A	継続
	B1	コスト改善
	B2	利用度改善
	C	見直し
費用対効果のとらえ方		
コストと利用度のバランスが良い		
コスト面の改善が必要		
利用度の改善が必要		
コストと利用度のバランスが悪い		
凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(同一分類)の他施設		
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。		

■ 一次評価【費用対効果分析×施設性能分析による比較】		
	【当該施設の評価】C2	
	区分	対応
	A	継続
	B1	向上
	B2	向上
	C1	改善
	C2	改善
	C3	改善
	D1	見直し
	D2	見直し
	E	要見直し
方向性の考え方		
現状維持・長寿命化を基本とする		
施設性能の向上を検討する		
費用対効果の向上を検討する		
施設性能の改善を検討する		
施設性能と費用対効果、両方の改善を検討する		
費用対効果の改善を検討する		
施設性能の見直し(建替え改修等)を検討する		
費用対効果の見直し(機能移転等)を検討する		
施設性能と費用対効果、両方の見直しが必要である		
凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(同一分類)の他施設		
※ 点の位置は、同一分類の施設全体の平均値からの乖離度合いを表している。		

Ⅳ. 機能及び施設の現状と課題		
■ 現状における施設の課題と対応(現状で課題がない場合でも今後10～20年程度を想定して記載)		
課題	商工業活動等の拠点として施設(ホール、パブリックホール、会議室、研修室)を貸し出しているが、利用促進を図るため機能の充実が課題である。	築30年以上経過しており、老朽化による床の改修や、非常用発電設備の更新等、大規模改修が必要である。
対応方針	今後の利用状況等によっては、他施設機能の取り込み(複合化)や他の類似施設との統合等も考えられる。	点検診断や予防保全を踏まえながら、長寿命化を検討する。

施設カルテ（調査票）

商工センター

令和 5 .3.31時点

I 施設・建物情報

施設基本情報	施設名称	商工センター		会計名	普通会計					
	施設番号	043		カルテ番号	038-013040-01-106					
	所在地（地番又は住所）	忍2-194-1		所管課	商工観光課					
	大分類	産業系施設		中分類	産業系施設					
	延床面積施設計	4,533.35	m ²	敷地面積	2,429.71	m ²				
	建物所有状況	市所有		土地所有状況	市所有					
	うち借受建物面積		m ²	うち借地面積		m ²				
	小学校区	忍小学校通学区域		中学校区	忍中学校通学区域					
	管理形態	指定管理（利用料金制）		配置形態	単独					
	指定管理・委託先名	公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団								
複合・併設の状況	機動第1分団									
避難所指定	あり		駐車可能台数	50 台						
建物基本情報 ※欄が不足する場合には4ページ以降に続きを記載	1	建物名	商工センター		主体構造	SRC		階数(地上・地下)	4	0
		大規模改修実施年度	2015	延床面積	4,533.35	m ²	建築年度	1982	年度	
		耐震診断・耐震補強	不要		不要		経過年数	40	年	
	2	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
	3	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
	4	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
	5	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
	6	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
	7	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
	8	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
	9	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	
	10	建物名			主体構造			階数(地上・地下)		
		大規模改修実施年度		延床面積		m ²	建築年度		年度	
		耐震診断・耐震補強					経過年数	-	年	

施設カルテ（調査票）

Ⅱ 財務情報（コスト）

単位：千円（端数処理の関係で過去3年の平均と各年度の合計が一致しない箇所がある）

		過去3年の平均	令和2年度	令和3年度	令和4年度
運営 人員	正規職員数	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
	再任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	会計年度任用職員数	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
施設運営人員 計		0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
人件費		321	320	318	325
需用費【光熱水費】		0	0	0	0
需用費【修繕料】		306	450	0	467
需用費【その他】		113	0	340	0
委託料（施設維持管理）		0	0	0	0
指定管理料		37,967	37,014	37,553	39,334
土地建物等賃借料		0	0	0	0
工事請負費		0	0	0	0
その他維持管理経費		0	0	0	0
①歳出合計		38,707	37,784	38,211	40,126
施設利用収入		4,082	4,082	4,082	4,082
その他の収入		4,195	4,908	4,534	3,142
補助金等収入		0	0	0	0
②歳入合計		8,277	8,990	8,616	7,224

財務 指 標	施設収支（①-②）	30,431	千円	収支割合（②÷①）	21.4	%
	利用者あたりコスト	971	円/人	利用件（点）数あたりコスト	-	円/件
	1㎡あたりコスト	8,538	円/㎡	入居戸数あたりコスト	-	円/戸

Ⅲ 供給情報（利用）

※定員等については各施設に定めのある定員または過去3年間の平均値を記載

		定員等	令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設 利用 状況	児童・生徒・園児数		人	人	人
	学級数		組	組	組
	開館・提供日数	355	日	359	日
	年間延利用者数	32,032	人	36,392	人
	年間利用・給食件数		件	件	件
	年間貸出資料数		点	点	点
	入居戸数		戸	戸	戸

運 営 情 報	設置目的	商工業の振興と市民福祉の増進を図るため設置する。					
	設置根拠（設置条例等）	行田市商工センター条例					
	業務内容等	商工業活動の拠点となる施設の貸与、付随するサービスやイベント等の実施					
	目的外使用	有		目的外の内容			
	運営時間（平日）	9　：　00　～　21　：　30		運営時間（休日）		9　：　00　～　21　：　30	
そ の 他 制 限 等	建物解体等の制限	フロンガス及びアスベストの飛散（一部の箇所にアスベストを含有している塗布材を使用していたため、平成27年度に除去工事を実施。）					
	その他特記事項	老朽化により空調設備の改修や、非常用発電設備の更新等、大規模改修が必要である。					

施設カルテ（調査票）

Ⅲ 供給情報（利用）続き

供給指標	過去3年の平均利用者数	39,861	人	過去3年の平均学級数	-	組
	過去3年の平均開館日数	358	日	過去3年の平均利用件数	-	件
	過去3年の平均貸出資料数	-	点	過去3年の平均入居戸数	-	戸

Ⅳ 施設性能調査結果

分類		内容	
Ⅰ 施設	建物の外壁	建物の外壁修繕（外壁の塗り替え・張り替え等）は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成19年度以降に修繕を行っていない、又は平成18年度以前に修繕を行っている。 2：平成19年度以降に竣工、又は修繕を実施しているが、目視で確認できる劣化（ヒビ割れ・タイル浮きなど）がある。 3：平成18年度以降に竣工、又は修繕を実施しており、外壁に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		3	
		備考	平成24年（2012年）度に、外壁修繕工事施工済み。
	建物の屋根・屋上	建物の屋根・屋上の防水工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に工事を行っていない、又は平成4年度以前に工事をしている。 2：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しているが、雨漏りや目視で確認できる劣化（防水層の破損など）がある。 3：平成5年度以降に竣工、又は工事を実施しており屋根・屋上に問題は無い。 4：不明 5：該当なし
		2	
		備考	平成27年（2015年）度に、3階屋上防水改修工事施工済み。大雨の際、天窓部分で雨漏りがある。
	耐震性能	建物は耐震性を有していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が無い。 2：旧耐震基準に基づく建物であり、耐震改修の実績が有る。又は、耐震改修する必要がない。 3：新耐震基準に基づく建物である。 4：不明 ※耐震基準が不明な場合は、建築年が昭和56年6月1日以降の場合は新耐震基準、それ以前の場合は旧耐震基準とした。
		3	
		備考	昭和58年3月31日竣工の建築物のため、新耐震基準に合致。
Ⅱ 設備	冷暖房	冷暖房設備に支障はありますか。	
		回答	【回答の内容】 1：支障あり（備考欄に支障内容を入力してください） 2：支障はあるが軽微なもの 3：支障なし 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	チラー2台中1台が故障、設置後30年以上経過しており部品の調達不可能なため、29年度に改修工事の設計を実施。チラーユニット冷媒漏れのため平成30年度に修繕済み。
	給排水	建物の給排水管の更新工事は行っていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：平成5年度以降に更新工事を行っていない。 2：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しているが、漏水や赤水、詰まり、水圧不足等が生じている。 3：平成5年度以降に竣工、又は更新を実施しており、問題が無い。 4：不明 5：該当なし
		1	
		備考	建築後、更新工事を行っていない。エレベーターピットに漏水あり。雑排水の配管詰まりあり。
Ⅲ 安全	防災管理	消防用設備等・特殊消防用設備等点検・報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		3	
		備考	点検により指摘があった誘導灯と防火扉の修繕を令和4年度に実施。
	安全管理	特殊建築物定期点検報告は実施していますか。また、指摘事項は改善していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：指摘あり、改善していない。 2：指摘はあるが、軽微なもの 3：指摘なし、又は対応済 4：不明 5：該当なし（点検対象施設ではない）
		3	
		備考	一部の箇所にてアスベストを含有している塗布材を使用していたため、平成27年（2015年）度に除去工事を実施。
Ⅳ 環境	環境保全	太陽光パネルやLED照明等の省エネルギー設備を導入していますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未導入 2：検討中 3：導入済 4：不明 5：該当なし
		1	
Ⅴ 機能	バリアフリー	バリアフリー（誘導ブロック、手すり、スロープの設置等）への対応ができていますか。	
		回答	【回答の内容】 1：未対応 2：一部対応済 3：対応済 4：不明 5：該当なし（市民利用がなく、対応不要） ※概ね全体の7割程度が対応している場合は「3」、7割未満だが一部対応している場合は「2」を選択している
		3	
	備考		

0

施設カルテ（調査票）

I 施設・建物情報（続き）

建物基本情報 2	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	11 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	12 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	13 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	14 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	15 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	16 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
	耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年
	建物名		主体構造		階数(地上・地下)	
	17 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
18 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
19 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	
建物名		主体構造		階数(地上・地下)		
20 大規模改修実施年度		延床面積	m ²	建築年度	年度	
耐震診断・耐震補強				経過年数	- 年	

V 施設現況

施設写真

